

できていますか？ 風水害の備え

近年、全国各地で局地的な豪雨が頻発しています。

有田市においても、台風や豪雨による河川の氾濫や道路の冠水、家屋の床上・床下浸水といった被害が毎年のように発生しています。

台風や集中豪雨が多くなるこれから季節は、風水害や土砂災害などに、特に注意が必要です。

災害発生時、公的機関は迅速に個別対応をすることができません。各家庭において備えができていないか、みずから初期対応ができるかどうかで、被害状況に大きな差がつかれます。

日頃からできる風水害対策について、あらためて見直してみましょ。



平成 25 年 9 月の豪雨による有田市野の高山川氾濫の様子

知っていますか？「防災豆知識」

●避難情報の3つの段階

- 1 避難準備情報（要支援者避難）
人的被害発生の危険性あり
避難に時間のかかる人は避難
通常避難ができる人は避難準備
- 2 避難勧告
人的被害発生の危険性大
指定された避難場所へ避難を開始
- 3 避難指示
人的被害発生の危険性大
または人的被害が発生した状態
指定された避難場所へすぐに避難

●命を守る最低限の行動

- 水平避難と垂直避難**
- 遠くの避難所へ避難（水平避難）
する余裕がないときは、近くの高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動（垂直避難）を行い、救助を待つという判断も必要です。
-

まずは情報収集

台風や豪雨の発生は、テレビやインターネットの気象情報などから、事前にある程度予測することが出来ます。日頃から気象情報をチェックする習慣をつけ、暴風雨が予想されるときは、早めの対応ができるよう準備しましょう。

また、過去の例などから、「自宅周辺が風水害を受けやすい地域かどうか」「危険な場所はどこなのか・・・」といった情報を集めておくことも大切です。

日頃からできる備えを

台風や豪雨による被害状況は、建物の状態や立地条件によって大きく変わります。建物の破損・老朽化している部分を補修し、風雨で飛ばされたり流されたりしそうな屋根瓦や設置物をしっかりと固定しておきましょう。

土地が低い場合や、地下室・地下駐車場がある場合は、浸水に備えて土のうや止水板を用意しておくなど、各家庭で必要な対策をしておきましょう。

また、いざというときに慌てることのないよう、非常持ち出し袋の準備もしておきましょう。



非常持出品

ヘルメット
懐中電灯（予備電池）
携帯ラジオ（予備電池）
非常食（乾パン・菓子など）
飲料水（ペットボトル）
緊急医療品 常備薬（きず薬・ばんそうこうなど）
貴重品（通帳・印鑑・保険証・免許証・現金）
生活用品（衣類・軍手・ライターなど）

風雨が強まってきたら

暴風雨の中、むやみに外出することは禁物です。周辺や田畑の見回り、堤防や海辺の様子を見に出かけると、事故にやうおそれがあり危険ですので、絶対にやめましょう。避難行動をとる際にも十分な安全確保が必要です。

防災講演会

「自然災害から身を守るために」 家族・地域での備え

防災意識向上と、防災知識の普及を目的として、防災講演会を開催します。危機管理アドバイザーの国崎氏を講師に招き、女性視点・生活者視点からの「防災対策」についてお話しいたします。



日時 / 9月27日（土）午前10時30分～正午
場所 / 文化福祉センター
※入場無料（事前申込制）

申込方法 / 防災安全課まで電話にて申込
講師 国崎信江
横浜市生まれ 危機管理アドバイザー
危機管理教育研究所代表
生活者の視点で防災・防犯・事故防止対策を提唱している